



## 医学コラム IVR治療 について

☀️【症状】 足の冷感・歩行時の足の痛み・ふくらはぎの疼痛・皮膚の色の異常など...

閉塞性動脈硬化症（ASO）を疑います。足の血管の動脈硬化により狭窄や閉塞を起こして血液の流れが悪くなって、栄養や酸素が行き届かなくなり足に様々な障害を生じさせる病気です。

一定時間歩行すると下肢（足）の痛みなどの症状が現れ、休むと治る（改善する）のが主な症状です ⇒ 間歇性跛行（かんけつせいはこう）。動脈硬化が原因なので、その危険因子である喫煙習慣や肥満、高脂血症、高血圧、糖尿病がある人がなりやすいので注意が必要です。



### ●検査・診断について●

上肢（腕）の血圧と下肢（足）の血圧を同時に測定する検査（ABI：血圧脈波検査）：上肢の血圧と比べて下肢の血圧が低い場合は、閉塞性動脈硬化症が疑われます。

より詳細に血管病変を評価することを目的として、CT検査（CTアンギオグラフィー）、MRI検査などの画像検査を追加し診断します。



血圧脈波検査装置



C T A 画像

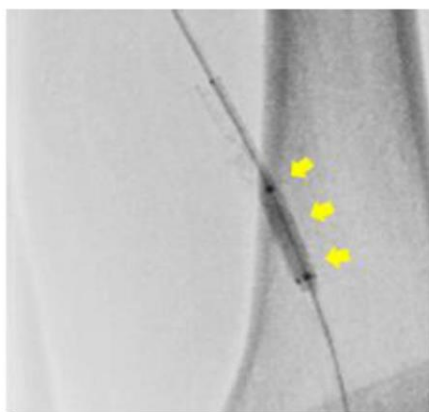
### ●治療について●

治療法としては、病期に応じて薬物療法、カテーテル治療、バイパス手術などがあります。IVR治療としてカテーテル治療（四肢の血管拡張術・ステント留置術）を行っています。

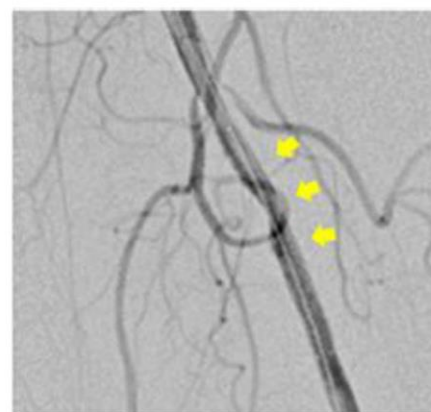
血管の中に風船のついた管（バルーンカテーテル）を入れ、血管の狭窄や閉塞部でふくらませて、血管を拡張させる血管拡張術と、拡張可能な小さいメッシュ状の金属の筒（ステント）を血管に留置して、血管の開通性を保持し再閉塞を予防するステント留置術があります。留置術後、ステントは動脈内に留まり血管を支え続けます。



血管拡張前



血管拡張中



血管拡張後